

医療情報に於けるオンデマンド出版の活用

武藤嵩宏

医療メディア設計事務所

■ 背景

病病連携や病院内での情報共有・発信、及び患者さん・ご家族・一般の方々への情報提供サービスでの不便さ（情報発信の困難さやそれに付随する諸問題、情報共有・検索性の問題等）は、『最適なメディアの不在』に起因していると考えられました。

医療情報提供サービスに用いられるメディアの主要な必要素質は、

1)信頼できる 2)多様な情報を 3)常に最新の内容で 4)必要なときに安定して 5)最適な媒体（電子データや冊子など）で提供できる。

という 5 要素が基本と考えます。しかしこの基本的条件を満たすメディアは、紙媒体では存在しませんでした。

■ 実用的なオンデマンド出版システムの誕生

オンデマンド出版とは、データベースとオンデマンド印刷を組み合わせた受注生産式の出版です。昨年末（2006年12月）に、pdfデータからわずか数分で印刷・くるみ製本・断裁まで自動で行われる新しいオンデマンド複合機が発売されるなど、オンデマンド出版がより実用的なものになってきております。

信頼できるデータベースと連携させれば、数m²の複合機自体がデータベースの全てのデータを冊子としてその場ですぐに提供できる事実上無限の蔵書量を誇れる書店となり、5要件を全て満たすメディアが実用化されたこととなります。

■ オンデマンド出版システムの医療情報への適応

実際に医療現場および情報提供施設で活用されるためには、システムの運用に関わるコンテンツホルダー・システム関連企業・情報提供サービスをされる方々の利便性向上・労力低減・コスト減等の利益の一致を図り、また情報利用者にとって使い易く、利用しやすいことが求められます。

これらの具体的な仕組み（権利・流通・決済・登録・サポート体制など）や Web2.0 的サービスとの連携、また患者情報提供サービスへの応用などを事例を交えながら紹介致します。